



<教育目標>

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

平成30年1月31日(水)  
練馬区立豊玉第二小学校  
校長 佐野 匡

# 豊二小だより 2月号

今、一緒に努力する

校長 佐野 匡

## 先生も努力する

学校では今、「授業観察」というものをしています。年間何度か、すべての先生の授業を見て、よりよい授業や学級経営をするために、学んだり、確認したりするためのものです。自分の授業のやり方を客観的に知ることがよりよい授業をすることにつながっていくと考えています。



私自身が見ていて、「いいなあ。」と思う授業には  
○子供同士、子供と先生間の会話あり、それを通して学びが深まっていく。

○「今、やること」が明確で、学級全体がそのことに向かっている。

○先生から子供への学習に対する指導の言葉と、できたことを認める言葉が多くある。

など、共通点が多くあります。

逆に「努力していきたいな。」と思う授業にも

○先生の授業進行（「はじめて」「次の人発表してください。」など）や授業参加のうながし（「こっち見て。」「しゃべらない。」など）に関する言葉が多い。

○はじまりやおわりのあいさつ、発表や話の聞き方など授業規律が独自ルールになり徹底しない。

○先生の説明や一問一答のやりとりが長く続く。

など、改善点があります。学校をよい学びの場にするために、「先生も努力する」ことを続けます。

## 子供も努力する

学校では今、「授業観察」というものをしています。年間何度か、すべての学級の授業を見て、子供たちの成長やこれから解決する課題について確認するためのものです。自分の授業の受け方を客観的に知ることがよりよい学びにつながっていくと考えています。

私自身が見ていて、「いいなあ。」と思う授業の受け方には

○得意、苦手関係なく、最後まで授業に関わろう（参加しよう）とする。

○教員の指示や友達の意見を理解しながら聞ける。

○笑顔で、リラックスしながら授業に参加する。

など、共通点が多くあります。

逆に「努力していきたいな。」と思う授業の受け方にも

○切り替えや次の行動に移るのに時間がかかる。

○不規則な発言など、自分に都合のいい「マイルール」をつくり、それを優先してしまう。

○全体への話を自分の事として受け取れず、同じ話や説明を何度も繰り返すことが必要になる。

など、改善点があります。学校をよい学びの場にするために、「子供も努力する」ことを続けます。